



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年11月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「笑顔」

中島 照夫（宮古市日の出町仮設住宅 自治会副会長）

3. 11の地震が起こった時は、今まで体験したことのない大きな揺れだったので、津波が来ると確信し裏山へ登り、妻と一緒にそこから津波の様子を見ていました。自分の家や慣れ親しんできた町が一瞬でなくなる様子は、とても悲しいものでした。そして10日後には、千葉県の息子の家に世話になりました。もう宮古に戻ることはあるまいと思っていたのですが、夏の暑さに耐えきれず、10月に現在の二中仮説へ引っ越して来ました。

11月のある日のことです。買い物に行こうとすると仮設住宅の集会所の中に若い女性が寂しそうに座っていました。声をかけてみると「ボランティアに来たのですが…」よく話を聞いてみると彼女は、鹿児島から2日間かけてやってきたのですが、ボランティアを希望するところに車で連れてこられて降ろされたとのこと。当初は、宮古市もボランティアの受け入れ態勢が整っておらず、せっかく来られたボランティアの方々が何をしたいかわからない状況も多かったのです。私はその時、「この人をそのまま帰してしまったら宮古に誰も来なくなる。宮古がなくなる。」と感じました。そこで、自分の得意なドリップコーヒーを来た人に振舞うようになり、その場所は、いつしか皆が集う場所となりました。コーヒーを飲みながらみんなとお話をするだけでいいと思いました。いつの間にかこの集会所は噂になり、沢山のいろんな方々が来てくださるようになりました。

こうした集会所での様々な出会いの中で、ある学生さんから手紙が届きました。「中島さんが言ってくれた『あなたの笑顔は素敵だね。』という言葉は私の一生の宝物にします。何故なら私は助産師を目指しているのですが、笑顔がとても大切な職業だと思うからです。」という内容でした。

実は、私は笑顔が苦手なのです。小さい頃から男は笑うもんじゃないと育てられてきたからです。津波の3年前、孫にカメラを向けられました。「おじいちゃん笑って！このカメラは笑わないとシャッターが下りないカメラだよ。」私は一生懸命笑ったつもりでした。でも孫はシャッターを切ることはなく、言った一言が「おじいちゃんの顔こわい。」でした。

そんな思い出もあり、私は学生さんからの手紙を読み終えると町に行き鏡を買ってきました。そしてその日から私は毎日、笑顔を作る練習を始めたのです。練習を開始してから半年後大阪のYMCAから似顔絵の得意なボランティアの青年がやってきました。私も彼に似顔絵を描いてもらいました。完成した似顔絵を見てみると、自分でも驚く程の最高の笑顔でした。「笑顔ができた！！」そう思った瞬間でした。そこで私は、笑顔は、その人の心が現れないと笑顔にならない、と気づきました。私にとっては、この集会所でたくさんの人と出会い、お話をすることがとても楽しく、素敵な時間でした。人々の出会いが私の最高の笑顔を作ったと、私は感じています。

ボランティアに来てくださった方々は、年齢層も幅広く、1年間で10年分は話したのではないかと思います。大震災後、みなさんとの触れ合いを通じて、日本人は優しいと感じました。「私は日に日に元気になっています、みなさんのおかげです」と皆さんに伝えたいです。



「ぶらいむ・たいむ」ってどんなところ？

盛岡YMCAの学童保育は、「ぶらいむ・たいむ」と呼ばれています。3つのセンターで行われている「ぶらいむ・たいむ」の活動では、それぞれのセンターごとに個性があふれる楽しい時間が流れています。それぞれのセンターの様子を見てみましょう！

ぶらいむ・たいむ本町校



← お誕生日会にて、みんなでゲームタイム！とっても賑やかです。



→ ハロウィンパーティーで大盛り上がり！大学のリーダーも遊びにきてくれました。



みんな大好き、近頃の公園で外遊び！毎日めいっばい動き回ります。



→ 長期休暇には、みんなで少し遠くの公園に遊びに行くことも！

今年度のぶらいむ・たいむ本町校は歴代最多の45名の子どもたちが、日々ひしめき合いながら楽しく過ごしています。

本町校は、仁王、桜城、附属、城南、山岸の5つの小学校から子どもたちが集まってきています。学校以外での友だちの輪が広がるのも本町校の特徴です。やはり学校毎で学童に集まってくる時間が異なるので、「〇〇はまだ帰ってこないの？いつ来るの？」と友だちの帰りを待ちわびている子もたくさんいます。他の学校の友だちと唯一会えるこの場所を、楽しみに来てくれているのだと嬉しく思います。また、他学年との関わりも子どもたちには良い刺激になっていると思います。宿題の問題を分かりやすく説明してくれるお姉さん。サッカーや野球など、ルールや技術的なところを熱心に教えてくれるお兄さん。転んだり、喧嘩をしたりで、泣いてしまった子を慰めてくれるお姉さん。…そんなお兄さんお姉さんに低学年の子どもたちも厚い信頼を寄せています。今の1、2年生の子どもたちが高学年になったとき、自分より小さな子たちに対して同じように優しく接してあげられるようになることを期待しています。

そして、最近の子どもたちの流行りの遊びを紹介します！女の子たちの中では「裁縫」が人気になっています。10月にハロウィンパーティーの衣装や小物などを手作りしてみよう！と一部の子が始めてから、他の子まで興味を持ち始め、小さなクッションやマスコットなどを日々作っています。5年生以上の子は学校での家庭科の授業で裁縫の経験があるものの、4年生以下のほとんどの子はやはり初めての針！そして糸！何をどうしたらいいのか全く分からない状態から、今では玉結びや玉止めも覚え、スイスイと制作している子もいます。家で普段やらないようなことも、いろいろ挑戦できる場でありたいと思います。さて、男の子たちの中ではなんと「体力トレーニング」が流行り始めました。この流行りは年に何度か訪れます。このときの男の子たちの団結力と気合はなかなか熱いです。「公園を〇周走ったよ！」と、得意げに教えてくれる男の子たち。汗だくになりながら自分を追い込む姿を見て、男の子だなぁ、と感心してしまいます。来年の運動会やマラソン大会に成果が出ればいいですね！

最後に、ぶらいむ・たいむ本町校は、様々な性格、様々な年齢、様々な環境で過ごしてきた子どもたちがお互いの個性を理解し合った場所でありたいと思います。子どもたちが自分の居場所だと思ってくれるように…。

ぶらいむ・たいむ本町校 ディレクター 家村知佳



ぶらいむ・たいむ前潟校



ぶらいむ・たいむ前潟校は現在、1年生から6年生までの35名の子どもたちが日々の生活を過ごしています。学校から帰ってきた子どもたちは、宿題を済ませ、それぞれの自由遊びに入ります。自由遊びでは、2階の部屋で指人形や木の板などで、基地づくりをして遊んだり、戦いごっこや学校ごっこ、家族ごっこなどが見られます。目の前には広い公園もあるので、そこではケイドロや高おになどの鬼ごっこや、サッカー、ブランコ、鉄棒など様々な遊びが展開されます。さらに、夏には川づくり、冬にはかまくらづくりや雪合戦など季節によって遊びが変化していくのも特徴です。

前潟校の特徴の一つとして、一軒の家となっており、カウンターキッチンやお風呂があります。そのため、年に一度学童参加メンバーでのお泊り会を行なっています。1泊2日思い切り遊ぶことはもちろんですが、1日目の夕食づくりと2日目の昼食づくりでは、縦割りのグループに分かれ、必要な材料などを話し合い、近くのショッピングセンターに買いに行き、調理するという一連の流れを子どもたち自身の手で行っています。このお泊り会では、普段は共にすることがない時間や経験を共にすることで、子どもたち同士がより深くつながります。さらに、自分たちの手で行うという経験を通して、お泊り会を経てよりたくましく成長していく姿が見られます。

その他の行事としては、毎月のお誕生日会で特別おやつを自分たちで作ったり、ハロウィンパーティーで仮装を楽しんだりしています。

「自分のことは自分で」「他者の考えや思いに耳を傾け、理解しようとする」「自分の思いや考えを自分の言葉で相手に伝える」など学童での生活の中で、子どもたちは様々な経験を通し、成長していきます。これからも、子どもたち一人一人の瞬間瞬間を大切に、寄り添い共に楽しい時間の中で、成長していければと思います。

ぶらいむ・たいむ前潟校 ディレクター 浅沼慧



← 毎回大盛り上がり！の誕生日会の様子。自分たちでつくったおやつを自分たちで食べる！という経験は、子どもたちにとってもとても楽しいことなのです。

→ お泊り会では、いっしょに夜間はみんなで花火を行いました。



← 夏にはビニールプールを出して、みんなで水遊びをします。暑い夏も、これさえあれば乗り越えられる！

ぷらいむ・たいむ向中野校



ぷらいむ・たいむ向中野校は、YMCAの学童の中で最も人数が多いところ。毎日とてもにぎやかで、元気な声が響き渡っています。

9月に行われたバザーの様子。たくさんのご協力を頂き、楽しい活動となりました。



お誕生日会にて、舌をシロップの色に染めながら、みんなでおいしくかき氷を食べました！

盛岡YMCA向中野ぷらいむには、現在98名の子どもたちが在籍しており、日々元気いっぱい過ごしています。

向中野小学校校庭の傍にセンターがあり、子どもたちは学校が終わると歩いてセンターに帰って来て、宿題をしたり、プレイルームでボールを使って遊んだり、読書をしたり様々なことをしながら自由に過ごしています。天気の良い日には、校庭に出るのびのびと遊んでいます。木曜日には、体育館をお借りし遊ぶこともあります。学童内の行事は、月二回の誕生日会を行っています。グループに分かれ、ゲームに挑戦したり、駄菓子屋さんを行ったり様々なことを誕生会ごとに企画して行います。学年の違う友達同士が協力している姿も多く見られます。その他にも、季節に応じて七夕やハロウィン、クリスマス、節分などを行います。人数が多いため、なかなか全体でパーティーを開くことは難しいので、学童で出すお菓子や、飾りつけをするなど、できるところから行い、少しでも季節を感じてもらえるように工夫しています。

また、9月にはバザーを行いました。学童に在籍している子どもたちのボランティアを募り、沢山の子どもたちがお手伝いに来てくれました。ご協力頂いたワイズの方々、お客さん、店員さんなどYMCAに関わる沢山の人が関わり合い、賑やかに楽しんで活動を行うことができました。学童で遊んでいる子どもたちの普段とはまた違った一面も見ることができましたよ。最近の学童の様子は、以前に比べて子どもたちの中で、友達の輪が広がったり、成長しているなど感じる場面があったり、反面、いざこざや、ぶつかり合いが増えたり、学童内でも一人ひとりで様々な変化が起こっています。その中で、リーダー、パートさん、スタッフ、保護者の方々が一丸となって子どもたちと向き合い、子どもたち同士の良好な関係づくりに努め、お互いに成長していけたらと願っております。

ぷらいむ・たいむ向中野校 ディレクター 尾形裕一郎

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 10月報告書

①インターン生による活動報告

盛岡YMCAのインターン生として活動してくれている、あさりリーダーこと安久津理沙さんより、宮古での活動報告が届いています。以下は、安久津さんからのレポートとなります。



10月3日(土)に、宮古商業高校ボランティアサークルと茶道部の1・2年生を対象に「命のワークショップ」が行われました。参加してくれた高校生は、男女合わせて18名でした。今回担当して頂いた講師の先生は、吉崎先生です。吉崎先生は産婦人科医で、主にガン患者の方と接することが多いそうです。日ごろの経験

から、命について、生き方について、高校生に熱いメッセージを伝えてくださいました。「自分が生まれてきた確率は?」「自分はどのように誕生したの?」「自分って何だろう?」など、普段あまり考えることがない話題に触れ、自分の価値や個性のちがいを認め合う大切さを感じました。高校生たちは真剣なまなざしで吉崎先生のお話を聞いていました。話の内容がすべて理解できなくても、参加してくれた高校生一人ひとりにとって、1つでも心に引っかかるものがあったのではないかと思います。



10月4日(日)に、宮古高校美術部と宮古第一高校美術部のコラボ企画「ボクらの海をつくろう」が行われました。会場には、海をイメージした大きな模造紙があり、浜辺や海底の深さを模造紙の色を工夫して表現していました。その他には、発泡スチロールとその専用の機械で自由に切って形を作ったり、木工やビーズやペンなどを使った工作も行うことができました。参加していた子どもたちは、自由に絵を描いたり、工作をしたり、中には想像した深海魚を作ったりと楽しんでいました。自由帳などの限られたスペースでのお絵かきではなく、部屋いっぱいの大きな空間で自由に表現できるところがとても魅力的だと感じました。子どもたちが思う存分楽しんでいる様子が見られ、とても素敵な活動でした。

②「宮古街なか復興市」へ出店!

10月11日に行われた「宮古街なか復興市」に、屋台を出店しました。宮古のボランティア「ほっちゃん」と「ちかさん」による指導を受けながら、焼きそば・お好み焼きを作りました。今回の屋台では、2日間で103,700円の売り上げがありました。諸経費を除いた益金57,349円は、台風18号で被害を受けた常総市の復興支援募金として、日本YMCA同盟に送金しました。



↑ 頼れる地元のボランティア、「ほっちゃん」と「ちかさん」。いつもありがとうございます!



↑ 地元の高校生ボランティアと、東京や盛岡より集まった大学生ボランティア。

③二中仮設親睦会へ参加

10月18日に、宮古二中仮設にて親睦会が行われました。YMCAもご招待いただき、仮設の皆さんと楽しい時間を過ごしました、



↑ 富士山YMCAの三上さん、休日を利用して宮古にいらっしゃいました!



↑ 親睦会で開催された輪投げにて、見事賞品をゲット!



